

# 道北地域の環境緑化樹について

斎藤 新一郎

北海道はわが国における寒冷地方であり、とくにその北部地域は冬期に寒冷かつ多雪である。この厳しい気象条件は凍害・寒風害・雪害をもたらし、環境緑化樹の育成をむずかしくしている。それで、現状では、民家の庭や屋敷だけでなく、神社、寺院、学校、公園、その他の公共施設にも、環境緑化のための植栽が十分に行われているとはいえない。

道北地域の環境緑化樹植栽を調べると、本州方面（暖温帯）および外国産の樹種がかなり多い傾向にある。この要因には、父祖出身地へのあこがれ、教科書・書物・テレビ・新聞などに本州中心の樹種がのること、本州からの苗木供給、身近に生育するものより珍しい樹種を好むこと、その他がある。

けれども、道北地域の気候はこれら南方系樹種の大半に、屋外冬越しのパスポートを与えない。春から夏に苗木を求め、ひと夏ながめ楽しんで、冬に枯らすというパターンを変え、環境緑化のための樹木植栽に意欲がわくようにするには、適樹を選ぶことがひとつの有効な方法と考えられる。

## 道北地域に天然分布する樹種

ある緑化樹がその地域に適するかどうかを判断するとき、天然分布と植栽分布の両方を参考にするとよい。前者は天然生林の樹種構成や諸文献から知ることができ、後者は既往の植栽樹種を調べることから知られる。

樹木の天然分布（水平分布）の北限は、総体的には耐寒性によって決まるのであろうが、生育地の適否、微気候、積雪深、種間競争、分布拡大の速さと機会、その他の因子によって、地方的ないし局所的に左右されることがある。

森林帯から北海道をみると、黒松内低地帯までの西南部は冷温帯ブナ林であり、北限がここにある樹種がかなりある。これから東側は冷温帯落葉広葉樹林であり、ミズナラおよびシナノキが中心となる。

石狩低地帯も重要な分布限界となっている。また、日高山脈、石狩平野、中央高地などもいくつかの樹種の北限である。さらに、対馬暖流と積雪の保温効果とに関係した、日本海要素とでもいうべきものもある（図）。

道北地域に天然分布する樹種は、表のように、同じ冷温帯落葉広葉樹林帯（ないし針広混交林帯）に属する南部、中部地域に比較すると、その数がかかなり少なくなっている。

これら天然分布樹種は、異常気象によって周期的な気象害を受けることがあっても、長い期間にわたって道北地域の気候に適応してきている。それで、これらの樹種はこの地域の環境緑



### 水平分布の限界（北限）とおもな樹種

化樹種として利用できるだろう。

### 環境緑化樹として植栽されてきた樹種

既往の環境緑化樹の現況調査を、道北地域の日本海沿岸、オホーツク海沿岸、離島、および内陸部において、1973年から行ってきた。調査対象は農家の防風林、神社・寺院の林（鎮守の森）、街路・道路樹、公園樹、校庭林、庭木などである。

海岸部でよい成果をあげている針葉樹はトドマツ、アカエゾマツ、エゾマツであり、広葉樹はミズナラ、イタヤカエデ、ヤチダモ、ドロノキ、ヤナギ類である。これらは海岸防風林の適樹とほぼ一致し、いずれも道北地域に天然分布する。これら耐風性樹種の保護下であれば、イチイ、シラカンバ、ナナカマド、サクラ類、ツツジ類、ツリバナ類などの、郷土産の（天然分布する）庭木・花木もよく生育できる。

異郷土産の（北海道に天然分布しない）樹種であっても、風が直接あたらない場合には、イチョウ、マツ類、クリ、サクラ類、アジサイ、ムラサキハシドイ、ツツジ類などがみられる。なお、異郷土産であるが、カラマソ、ギンドロ、クロポプラ、スモモなどはかなり耐風性に富む。

内陸部の街路樹・庭木では、耐寒性および耐雪性に富む樹種なら、いずれもよく生育しているが、郷土産ではナナカマド、ハシドイ、シラカンバ、イチイが、異郷土産ではニセアカシア、クロポプラ、スモモ、イチョウが代表的なものである。

古いものは50～70年生となっていて、これらはその地方で「歳月が証明した」環境緑化樹となっている。調査結果から、天然分布樹種および既往の環境緑化樹種を表に示した。

### 環境緑化の適樹

道北地域で環境緑化樹を選ぶには、前述のように、天然および植栽分布樹種を参考にすればよい。そして、樹木園での植栽経過、道央・道東・道南における植栽例、原産地の気候なども検討して、生育できそうな樹種をもリストに加えることができるであろう（表）。

この表はひとつの目安であり、これら以外にもなおいくつかの樹種が生育可能と考えられる。また、この表には、耐寒性とは別に、つまり育苗、鑑賞、管理などの技術的・社会的要素から適当でないものがあるかもしれない。

北海道の北部地域は冬期に厳しい気候下におかれるが、環境緑化に適した樹種がないわけではない。天然分布および植栽成果からみて、この地域にもかなり十分な種類の環境緑化樹があり、環境条件の厳しさに応じて、郷土産、準郷土産、そして異郷土産の順序で適樹を選んでゆけばよい。

また、耐風・耐雪性に富む外囲い（屋敷林）樹種と、内庭用の緑花木とを区別して植えることが望まれる。適樹を選ぶとともに、植栽および管理技術を向上させることも重要な条件である。多雪地域における植栽・管理技術については、次の機会に書いてみたい。

さらに、道北地域の人々が、自分たちの生活している自然環境を正しく理解することも、環境緑化樹の植栽にとって重要な条件といえる。これらの諸条件を満たしつつ、熱意と時間とが、この地域に適した環境緑化をもたらすであろう。

道北地域の環境緑化樹のリスト

生活形		道北地位に天然分布する樹種	既住の環境緑化樹種	生育できそうな樹種
針葉樹	高木	イチイ , トドマツ , アカエゾマツ , エゾマツ	イチヨウ , ヨーロッパトウヒ , カラマツ , アカマツ , サクラ , ニオイヒバ	クイマツ , キタコヨウ , チョウセンゴヨウ
	低木	ハイイヌガヤ , ハイマツ , ハイネズ , ミヤマビャクシン	モンタナマツ	
広葉樹	高木	ドロヤナギ(ドロノキ) , エゾノバッコヤナギ , ナガバヤナギ , オニグルミ , シラカンバ , カシワ , ミズナラ , ハルニレ , オヒョウ , ヤマグワ , カツラ , キタコブシ , ホオノキ , ミヤマザクラ , エゾヤマザクラ , シウリザクラ , アズキナシ , ナナカマド , イヌエンジュ , キハダ , ニガキ , ハウチワカエデ , イタヤカエデ , アカイタヤ(ベニイタヤ) , シナノキ , ハリギリ , コシアブラ , ミズキ , ヤチダモ	ギンドロ , クロボブラ , シダレヤナギ , ウンリュウヤナギ , クリ , ハクモクレン , セイヨウミザクラ , スモモ , セイヨウナシ , ニセアカシア , シンジュ , ヤマモミジ , ネグンドカエデ	ヒメグルミ , クログルミ , ブベスケンスカンバ , ベルコーザカンバ , コナラ , アカナラ , プナ , ノニレ , アメリカスズカケノキ , ヨーロッパナナカマド , カラコギカエデ , ルブルムカエデ , サトウカエデ , チノキ , キササゲ
	低木	イヌコリヤナギ , ツノハシバミ , ミヤマハンノキ , ヒメヤシャブシ , ヒロハノヘビノボラズ , エゾアジサイ , ノリウツギ , エゾスグリ , ホザキナナカマド , ヤマハマナス(カラフトイバラ) , オオタカネイバラ , ハマナス , チシマザクラ , ウラジロナナカマド , エゾノコリンゴ , マルバシモツケ , エゾヤマハギ , ツルシキミ , エゾグズリハ , イヌツゲ , ニシキギ , コマユミ , ツリバナ , マユミ , ミネカエデ , ナニワズ , ウリノキ , イソツツジ , キバナシャクナゲ , ハクサンシャクナゲ , カクミノスノキ , サワフタギ , イボタノキ , ハシドイ , エゾニワトコ , カンボク , オオカメノキ , タニウツギ , ケヨノミ	コリヤナギ , ボタン , メギ , ハクモクレン , アジサイ , ゲースベリ , アカスグリ , ヤマブキ , ボケ , コデマリ , シモツケ , ムクゲ , ナツグミ , アキグミ , ヤマツツジ , レンゲツツジ , エゾムラサキツツジ , チョウセンレンギョウ , ムラサキハシドイ , テマリカンボク	ウツギ , パイカウツギ , ワタゲカマツカ , シロヤマブキ , キバコデマリ , イタチハギ , ハクウンボク , サラサドウダン
	つる	チョウセンゴミシ , ツルアジサイ , イワガラミ , ツルウメモドキ , ヤマブドウ , サルナシ , マタタビ	フジ , ツタ , ツキヌキニンドウ	ツルマサキ

環境緑化樹として植栽されている樹種 , \*北海道に天然分布しない樹種

(道北支場)